

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握するとともに、施策の評価や市政への関心・意識の程度を調査し、市政運営上の基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
広報媒体の活用状況	市政情報の各広報媒体の視聴状況、「広報うつのみや」の入手方法、入手していない理由、「広報うつのみや」で読んでいる記事、「広報うつのみや」に関する感想、取り上げてほしい話題・情報、市のホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページで知りたい情報は探しやすいか、ホームページに関する感想、充実してほしい機能や情報、市政情報をどんな手段で知りたいか
健康づくり	健康面からの生活習慣、相談できるかかりつけの歯科医院、主食・主菜・副菜をそろえて食べる日数
中心市街地の活性化	中心市街地に出かける頻度、中心市街地へ出かける目的、より訪れたいくなるための機能や施設
宇都宮市を拠点とするプロスポーツチーム	本市を拠点に活動するプロスポーツチームの認知度、プロスポーツチームに期待することは何か、プロスポーツの活躍や活動に対してどう感じているか
生物多様性	自然環境について関心があるか、「生物多様性」の認知度、外来種が及ぼす影響の認知度
宇都宮市の景観	宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか、「宇都宮らしい景観」とは何か、良好な都市景観の形成に必要なこと、動画や静止画を表示する看板（デジタルサイネージ）の印象、看板（デジタルサイネージ）に感じる点
うつのみや産の農産物	「うつのみや産」の農産物の購入意欲、宇都宮の農業を大切にしたいと思うか
男女共同参画	家事・育児・介護それぞれに費やした時間、社会的な活動の実施状況、配偶者からの暴力を受けた経験、LGBT（エルジービーティ）の認知度
空き家及び防犯・交通安全に関する意識	管理が不十分な空き家が増えていると感じるか、近所の空き家の活用方法、「宇都宮空き家会議」の認知度、安心して暮らすことができていると思うか、自転車保険の加入状況
アーバンスポーツへの関心	どのようなアーバンスポーツイベントがあれば観戦したいか、アーバン（都市型）スポーツの種目の認知度、興味や関心または既にやっているアーバン（都市型）スポーツの種目、アーバン（都市型）スポーツに関心がない理由
まちづくり活動への意識	まちづくり活動の参加状況、参加中または興味があるまちづくり活動の種類、まちづくり活動に参加したいと思わない、または参加できない理由

選挙の環境向上に向けた取組	どの時間帯で投票所へ行くことが多いか、期日前投票所に行って投票をしたことがあるか、投票所の終了時刻を早めること、終了時刻を早めることに賛成する理由、終了時刻を早めることに反対する理由、選挙の環境向上に役に立つと思う取組
路線バスの利用状況等	路線バスをどの程度利用するか、路線バスを利用する際の主な外出目的、どの程度の間隔で運行されていれば利用しやすいか、利用料金の1か月あたりの程度、路線バスを利用するために重要なこと
住宅用火災警報器の設置及び維持管理状況	「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況、住宅用火災警報器等の「点検」の有無、設置している住宅用火災警報器の経過年数
「大谷石文化」の日本遺産認定	「大谷石文化」が日本遺産に認定されていることの認知度、「大谷石文化」を誇りに感じるか
食品ロスの削減	未使用、未開封の食品を、焼却ごみとして捨てたことの有無、捨てた理由、「食品ロス」を減らすために効果があると思うこと
治水・雨水対策	総合治水・雨水対策の認知度、総合治水・雨水対策をどこから知ったり聞いたりしたか、総合治水・雨水対策の効果的な啓発方法、今後取り組んでいきたいと思っているもの
いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会	栃木県で国体が開催されることの認知度、とちぎ国体へボランティアとしての参加意向、ボランティア情報の入手方法、国体を盛り上げるために重要だと思うこと
水災害（洪水など）への備え	「ハザードマップ」の存在の認知度、住んでいる建物（住宅）は、洪水浸水想定区域内、または洪水浸水想定区域外か、水災害への備えに取り組んでいるか
結婚・出産・子育てに関する意識	結婚しているか、結婚するつもりがあるか、結婚している場合、全部で何人のお子さんを持ちたいか、結婚を予定している場合、子どもは何人ほしいか
宇都宮市のみどり	みどりの量についての満足度、10年後のみどりの量の在り方、みどりの保全・普及啓発に関する取組の満足度、みどりと憩いの拠点づくりの推進の満足度
SDGs (エス・ディー・ジーズ)	SDGsについての認知度、SDGsについて知った手段、SDGsのゴールの中で、興味・関心のある分野
自転車のまちづくり	自転車の利用頻度、宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思うか、自転車走行空間（自転車レーンなど）の整備状況
「もったいない運動」	「もったいない運動」の認知度、「もったいない運動」を知った経緯、日常生活の中で取り組んでいる「もったいない運動」
敬老事業	「長寿」にふさわしい年齢は何歳から、市からの敬老祝として望むもの、敬老祝金の贈呈制度のかわりに福祉サービスを充実する考え
GAP（農業生産工程管理）の認知度等	農産物について、その生産過程のどのような取組が重要か、GAPについての認知度及び情報入手機会、GAPの取組みを行って生産された農産物の購買意欲
雨水貯留・浸透施設の補助金制度	「貯留タンク（雨どいから雨水を貯めるタンク）」や「浸透ます（雨水を地下にしみ込ませるもの）」の認知度、雨水貯留・浸透施設の設置に対する補助金制度の認知度、雨水貯留・浸透施設の設置効果についての認知度、雨水貯留・浸透施設を設置したいと思うか、設置希望・既設置の理由、設置したくない理由

---

### 3. 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象者 満 18 歳以上 80 歳未満の日本国籍を有する市民 4,800 人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 令和 3 年 8 月 4 日～9 月 9 日

## 4. 回収結果

調査対象数	有効回答数	有効回答率
4,800	2,319	48.3%

<性別・年齢別の回収状況>

年代	性別	調査対象数	郵送		インターネット		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
10歳代	男性	47	5	10.6%	10	21.3%	15	31.9%
	女性	32	8	25.0%	9	28.1%	17	53.1%
	計	79	13	16.5%	19	24.1%	32	40.5%
20歳代	男性	276	30	10.9%	40	14.5%	70	25.4%
	女性	215	39	18.1%	35	16.3%	74	34.4%
	計	491	69	14.1%	75	15.3%	144	29.3%
30歳代	男性	397	63	15.9%	67	16.9%	130	32.7%
	女性	345	101	29.3%	73	21.2%	174	50.4%
	計	742	164	22.1%	140	18.9%	304	41.0%
40歳代	男性	486	93	19.1%	74	15.2%	167	34.4%
	女性	438	150	34.2%	81	18.5%	231	52.7%
	計	924	243	26.3%	155	16.8%	398	43.1%
50歳代	男性	457	110	24.1%	71	15.5%	181	39.6%
	女性	392	183	46.7%	45	11.5%	228	58.2%
	計	849	293	34.5%	116	13.7%	409	48.2%
60歳代	男性	385	158	41.0%	50	13.0%	208	54.0%
	女性	390	222	56.9%	19	4.9%	241	61.8%
	計	775	380	49.0%	69	8.9%	449	57.9%
70歳以上	男性	426	219	51.4%	19	4.5%	238	55.9%
	女性	514	317	61.7%	4	0.8%	321	62.5%
	計	940	536	57.0%	23	2.4%	559	59.5%
年代不明	男性	—	—	—	0	—	0	—
	女性	—	3	—	0	—	3	—
	不明	—	16	—	0	—	16	—
	計	—	19	—	0	—	19	—
その他	その他	—	2	—	3	—	5	—
全体	男性	2,474	678	27.4%	331	13.4%	1,009	40.8%
	女性	2,326	1,023	44.0%	266	11.4%	1,289	55.4%
	その他	—	2	—	3	—	5	—
	不明	—	16	—	0	—	16	—
合計		4,800	1,719	35.8%	600	12.5%	2,319	48.3%

## 5. 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになる。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となる。その精度は以下の式で表わされる標本誤差を算出することで把握できる。

通常のアンケートでは、信頼度として95%がとられるケースが多い。信頼度95%とは、100回に5回がその標本誤差の範囲におさまらないという意味である。

次の表は、本調査における信頼度95%の場合の標本早見表である。

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,319	±1.22%	±1.62%	±1.86%	±1.99%	±2.03%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,600	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.44%
1,200	±1.69%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.82%
800	±2.08%	±2.77%	±3.17%	±3.39%	±3.46%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%

<標本誤差の算出方法>

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b : 標本誤差

N : 母集団数 (宇都宮市の18歳以上80歳未満人口)

n : 比率算出の基礎 (回答者数)

P : 回答の比率 (%)

1.96 : 信頼度95%の場合 (信頼度99%の場合は2.58を使用)

<表の見方>

この表の見方としては、例えば、回答者数が2,319で宇都宮市が「好き」との答えが47.9%であった場合、「その回答比率の範囲は最高でも47.9%±1.97%以内(45.93%~49.87%)である」とみることができる。

## 6. 調査報告書の見方

- 集計値は、小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、件数を100.0%として算出した。
- n値が少ない属性は、記述に含まれない場合がある。
- 世論調査の結果のクロス集計結果については、年齢や家族構成等の属性によって、回答者数にばらつきがあることから、参考として記載する。